

様式1

令和3年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市立図書館	所在地	羽咋市鶴多町免田25番地
指定管理者	有限会社プロジェクトドウ		
住所	羽咋市中央町フ162番地	選定方法	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
指定管理料	23,682千円(令和3年度決算額)		
評価担当課	生涯学習課		
年度重点目標	生涯学習の拠点として、資料・情報の充実を図り、住民に親しまれる施設とするとともに、市内の学校図書室や生涯学習施設、福祉施設、ボランティアグループと連携し地域の実情に即した運営に努め、住民の学習活動を支援するための機能の充実を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	聞き取り 書類	人員配置計画書にて確認、名簿を受理 社員3人(うち司書2人) パート3人
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	聞き取り	ZOOMなどのリモートでの研修に参加
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	聞き取り	再委託無し
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	書類	仕様書・事業計画書等にて確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	現地確認、整理整頓されている
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	書類	保守点検報告書等で確認 (コスモアイル羽咋に準ずる)
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	聞き取り	報告書を受付、随時修繕を実施 (コスモアイル羽咋に準ずる)
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	書類	台帳確認(図書についてはパソコン管理)
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	聞き取り	随時更新を実施 ホームページ及び広報はくい確認
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	事例なし
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	書類	感染症対策のため、滞在時間を短縮し 人手に触れるアンケートは一時中止した。 声のハガキのみ設置。
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	聞き取り	適正に対処している
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	書類	訓練 年2回実施(5月、10月)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	A	聞き取り	総合賠償責任保険に加入している (コスモアイル羽咋に準ずる)

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報適正に管理されているか	A	A	聞き取り	利用者カードなど1年保存終了後シュレッダーで廃棄
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	聞き取り	実施されている
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	収支状況の報告書で確認
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	-	-	-	-
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	C	C	書類	利用状況報告書で確認 感染防止対策のため、滞在型利用を禁止するなどの利用制限を行った。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	毎月、報告書の提出がされている
9	アンケート調査意見及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者アンケート調査については、時期を決めて(8月)行っている。各テーブルに「ご意見シート」を配備している。 ・WEB上にもご意見箱を設置し、意見については真摯に対応している。 ・リクエストサービスの周知を工夫した。 ・コスモアイル羽咋の研修室が開いているときなどは学習スペースとして利用できるよう案内した。 				
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材は購入にコストがかかるため、利用頻度等を確認し方向性を考えることが必要。 ・羽咋市のプロジェクトチームで企画している電子図書館については、スケールメリットや使い勝手を研究し、導入するかどうかの検討を慎重に進める必要がある。 				
11	今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止対策については、引き続き行う。 ・学校図書館司書や読書活動に関わるボランティア養成のための研修や、資料・情報の提供、講座や講演会などを引き続き開催する。 ・地域の課題について、羽咋市と調整を行いながら資料をそろえて企画展を行い、生涯学習の場として活用する。 ・図書館のスタンプラリーについては、小学校や幼稚園に配布したところ、図書館の利用率の向上に効果があったと考えられるため、今後も子供たちに向けた企画を続けていく。 ・民間事業者と連携した事業を企画している。 				
総合評価		中間評価	年間評価		令和2年度	令和元年度
		A	A		A	A